

【国際シンポジウム】

植民地朝鮮の文学・文化と日本語の言説空間

(日時)2013年11月30日(土) 9:50-18:00

(場所)武蔵大学・3号館・3101教室 (正門入ってすぐ)

——西武池袋線「江古田駅」下車徒歩6分・都営大江戸線「新江古田駅」下車徒歩7分

(総合進行)渡辺直紀(武蔵大)

(通訳)郭炯徳(早大院)・柳忠熙(東大院)・申知瑛(一橋大院)

9:50	あいさつ—共同研究「朝鮮近代文学における日本語創作に関する総合的研究」について —波田野節子(新潟県立大)
【第1部】 10:00-12:00	(司会)朴光賢(東国大) 日朝合作映画『望楼の決死隊』(1943)『愛と誓ひ』(1945)と今井正／崔寅奎について —渡辺直紀(武蔵大) 植民地朝鮮における海外周遊・コスモポリタニズム・故郷—李光洙とその他者たち Travel abroad, cosmopolitanism, and kohyang (hometown, furusato) in colonial Korea: Yi Kwangsu and his Alterities —Ellie Choi (Cornell University) 初恋の記憶、混血児の内鮮一体—李光洙と山崎俊夫 첫사랑의 기억, 혼혈아의 내선일체 — 이광수와 야마사키 도시오 —李京墳(延世大) (質疑)金榮敏(延世大)・朴光賢(東国大)
12:00-13:00	—Lunch—
【第2部】 13:00-15:30	(司会)鄭鍾賢(成均館大) 金璟麟の日本語詩について —芹川哲世(二松学舎大) 玄海灘を渡る歌声—近代期日本の流行歌と朝鮮詩人 현해탄을 건너는 가성(歌聲): 근대기 일본 유행가와 조선시인 —具仁謨(延世大) 「ファシズム的公共性」の内破と「植民地公共性」の朝鮮的形式—朝鮮の歴史哲学者たちの「大東亜共栄圏」言説を中心に ‘과시증적 공공성’의 내파와 ‘식민지 공공성’의 조선적 형식 - 조선 역사철학자들의 ‘대동아공영권’ 담론을 중심으로 —李慧眞(世明大) 張赫宙・長篇「嵐の詩」論 —John W. Treat (Yale University) (質疑)金在湧(円光大)・Nayoung Aimee Kwon (Duke University)・鄭鍾賢(成均館大)
15:30-15:45	—Coffee Break—
【第3部】 15:45-17:30	(司会・聞き手)波田野節子(新潟県立大)・沈元燮(獨協大) (基調講演) 『朝鮮文学関係日本語文献目録』(1984(任展慧氏と共編)、1996(布袋敏博氏と共編))作成のころ —大村益夫(早稲田大学名誉教授)

【主催】日本学術振興会科学研究費補助研究「朝鮮近代文学における日本語創作に関する総合的研究」(2013年度～2015年度／代表・波田野節子・新潟県立大学教授／課題番号 25284072)

【問合せ】武蔵大学・渡辺直紀研究室 wata2002@hotmail.com